



子ども支援交流会

取組事例報告



NPO法人のはらネットワーク

2024年6月25日

01. 事業紹介

02. 独自の子育て支援の
3つの役割

03. それぞれのきっかけ

04. 宣伝・チラシ・SNS

05. 失敗？

06. 2023年度実績

07. 最後に

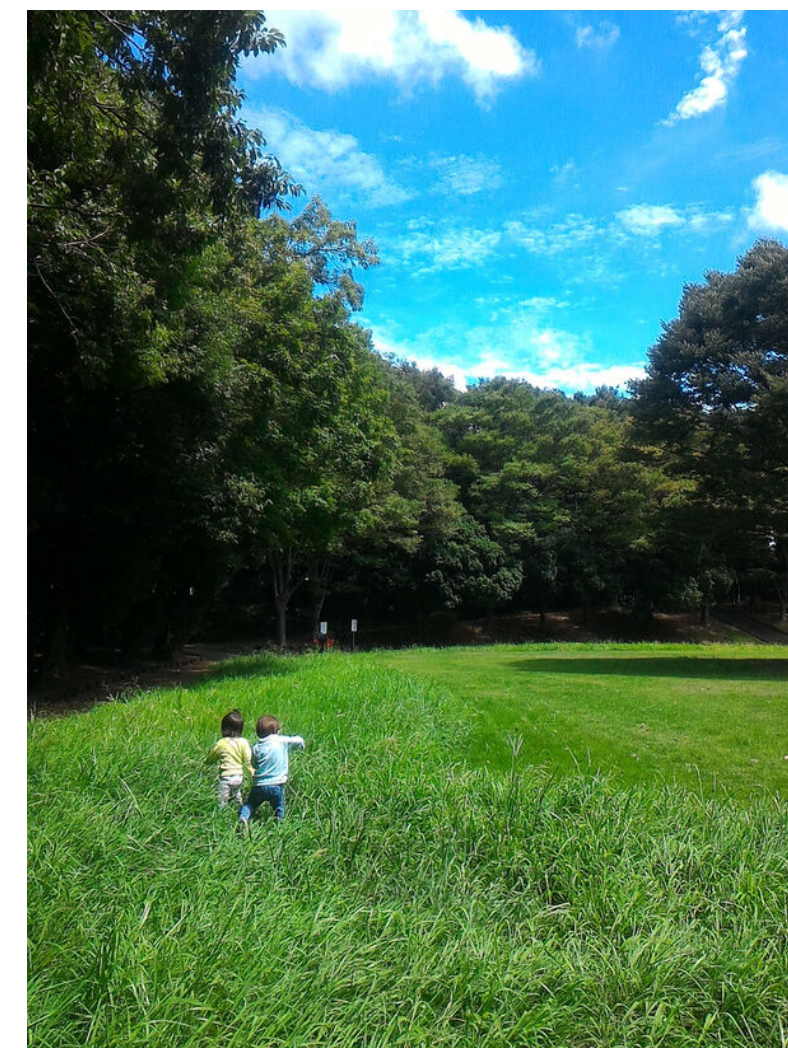


NPO法人のはらネットワーク

親も子もそれぞれを取り巻く人たちも
子育ての時をもっと楽しめるように
互いに育ちあい、もっと自分らしく
生きていけるように、私たちも一緒に
できることはないだろうか。
そんな思いがつのり設立しました。

01. 事業紹介 のはらネットワークの歩み

- 2001年 まちづくり協議会
- 2002年 保育室めーぷる開設 月極保育・一時保育・子育て支援事業開始
- 2003年 子育てフォーラム「一時保育を考える」主催
- 2004年 NPO法人ワーカーズコレクティブ めーぷるここ設立
センター北「キッズファーム」の運営開始
- 2005年 保育室めーぷる 横浜市保育室となる
- 2007年 一時保育専用「子育て子育て支援センターぽっぽ」開設
- 2008年 「学齢期障害児の放課後の居場所ぽっぽの家」開設
横浜市乳幼児一時預かりパイロット事業を受託
- 2009年 横浜市乳幼児一時預かり事業最初の4か所に選定
- 2012年 2園目となる「子育て子育て支援センター一時保育さんぽ」開設
- 2014年 NPO法人のはらネットワーク設立
- 2019年 横浜市市民協働事業
「ちょこっと子育てレスキュー隊」の立上げ
出張一時預かり・きょうだい児保育・サポーター育成講座・協議会の開催
- 2024年 横浜市北部地域療育センターきょうだい児保育を受託
分園きょうだい児保育「ちょこぽん」を開設



01.事業紹介

センター北 一時保育ぽっぽ



都筑区荏田南 一時保育さんぽ



きょうだい児保育 ちょこぽん



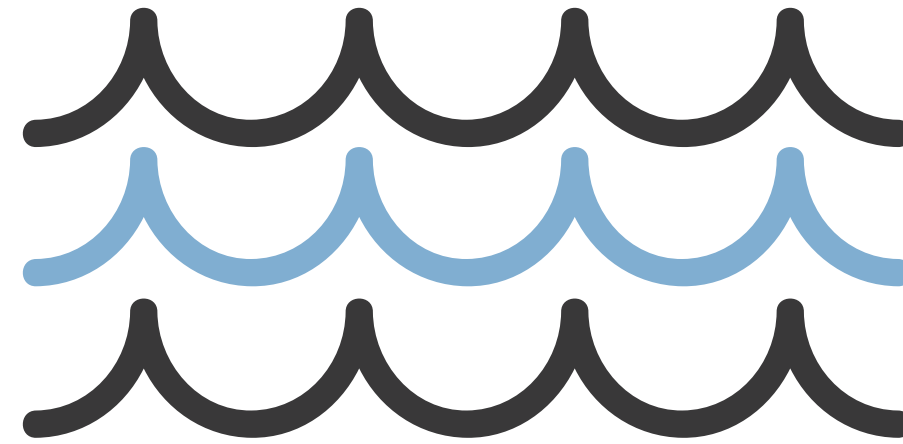
NPO法人のはらネットワークは
地域で支え合える「子育て」「子育ち」を目指して
2つ拠点で横浜市乳幼児一時預かり事業を行っています。

また、今年度からは横浜市北部地域療育センター内での
障害児のきょうだい児をお預かりする事業を受託し行っています。

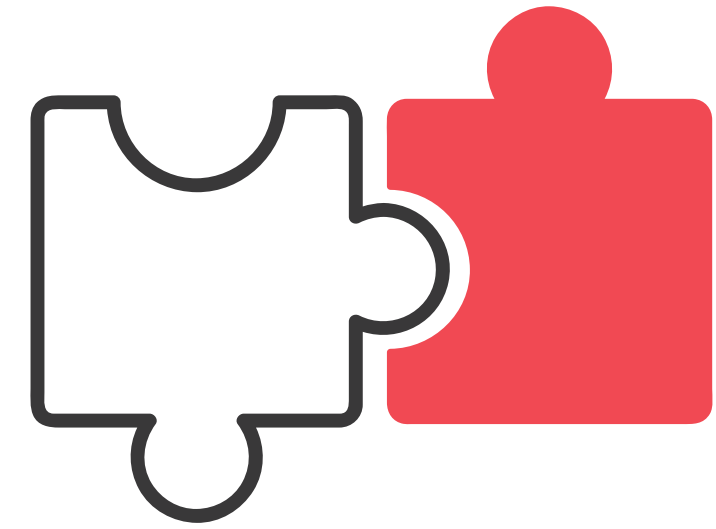
02.独自の子育て支援の3つの役割



親子の居場所として

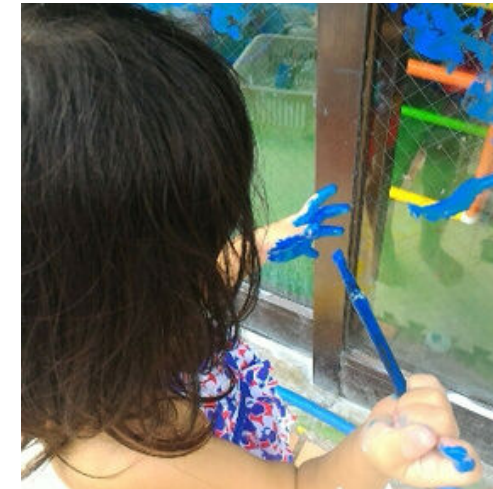


育児支援機能として



多様化する子育ての
ニーズに対応する

02.独自の子育て支援の3つの役割 例えば親子の居場所



キッズファーム・畑の日

毎月第2土曜日 9：30～11：00

キッズファーム開催

主催はセンター北キッズファーム管理運営委員会として、サポーター8名が畑の維持に参加しています。

「畑の日」は都筑区社協「つづきふれあい助成金」の配分を受けて開催しています。

季節の野菜の収穫や種まきなどをスタッフと一緒にに行います。

地域の菜園として、土とふれあう親子の広場として、野菜や花木を育て四季折々の畑体験を通じて多世代交流ができる場を作ることができています。

たまの土曜日に…@さんぽスペース

不定期開催 土曜日

月に一度程度、土曜日の施設を開放し、だれでも参加できる遊べるスペースを目的として活動開催しています。

遊びの場としてだけでなく、イベントも開催することもあり、これまで「薬膳ってなあに？」や一時保育さんぽ利用者の保護者さんによりフルート演奏「フルートを聴こう」などを実施しました。

地域の親子や家族が遊びに来園し、子どもたちの遊びを見守りながら交流の場となっています。

02.独自の子育て支援の3つの役割 例えば育児支援

コウノトリプロジェクト

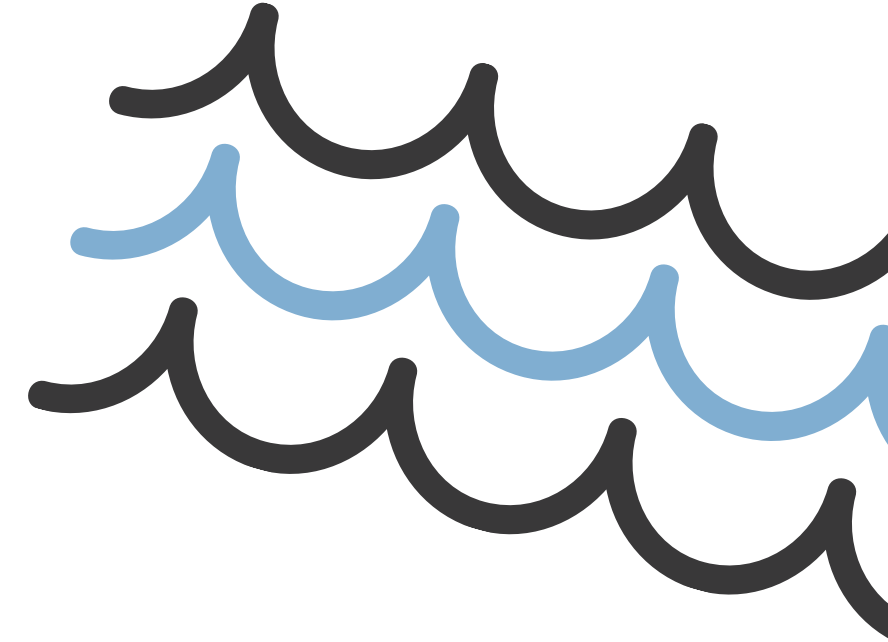


コウノトリプロジェクトとは…

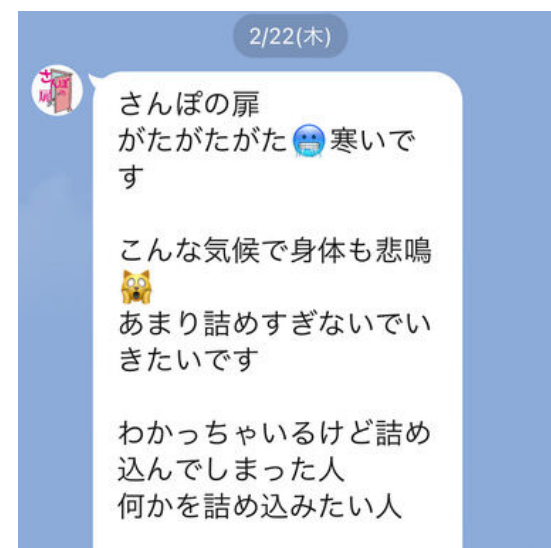
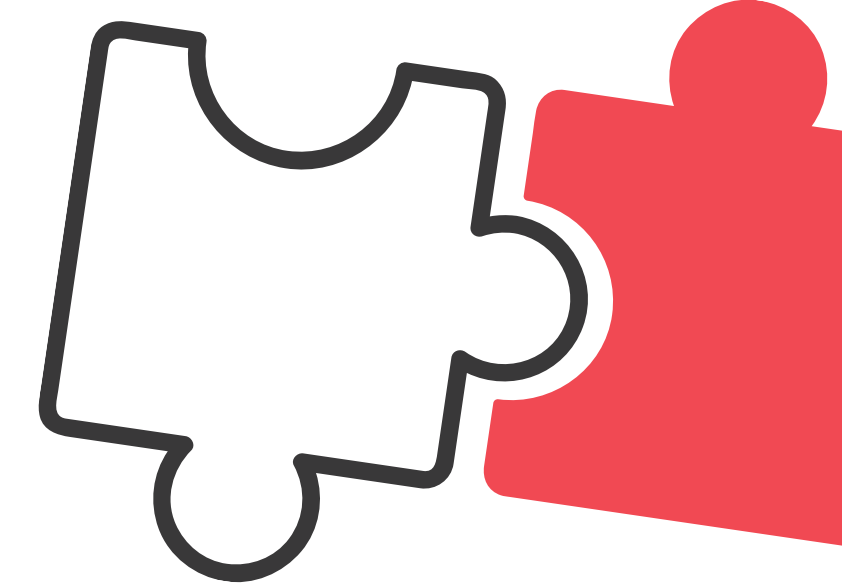
コウノトリプロジェクト

一時保育さんぽでいつでも開催中

妊娠中の方、サポートをする立場の方へ、地域で妊娠中や出産後にお出かけできる場所など地域の子育て情報をお伝えしています。また「ちょっとしたプレゼント」もお渡ししています。妊娠期から切れ目のない支援を目指しています。



02.独自の子育て支援の3つの役割 例えば多様なニーズに対応する



さんぽの扉

毎週1回 15:00～17:00
LINEの公式アカウントを利用し、利用者との1対1のチャットを行っています。

育児相談や愚痴、自慢話、問い合わせ、なんでも受け付けています。

相談をしたいけれど、電話をかけるほどでもない、相談窓口に行くほどでもない、誰に相談していいかもわからない、ママ友には言えない、そんな子育て世帯のちょっとした相談先として、LINEという手軽なツールでのコミュニケーション。



きょうだい児保育「ちょこぽん」

療育センターの開所日に合わせ開催
平日9:00～15:00

療育センター内で課題となっていた障害児のきょうだい児問題を協働事業として実施。

障害児を連れて、きょうだい児を他の施設に預けに行くことに困難さをかけていたご家族と、きょうだい児保育のニーズを抱えながらも、一時預かりのノウハウがない療育センターとの間に入り、療育センター内で一預かりを行えるよう協働事業を実施しました。

03.それぞれのきっかけ



あの人気になる

顔が浮かぶ「あの人」に届くためにはどうしたらいいか
から始まった支援

03.それぞれのきっかけ



さんぽのわ

毎週水曜日 10:30～12:30

鴨池公園開催

スタッフ2名と一緒に親子で外遊びをします。花や虫を探したり、ただ山道を散歩したりして、自然の中で季節を感じ遊びます。

きっかけ

一時保育のキャンセル待ちが多く、断るケースが増えた。また利用者側の声からも、「本当は預けなくてもいいけれど、でも子どもとどう遊んでいいかわからない。公園に行っても子どもが居ない」ということから始まる。



夕暮れ赤ちゃん広場

毎月第2・第4火曜日 16:00～17:00

一時保育施設内開催

乳児の夕暮れ時に泣く時間帯に、親子が保育室内で一緒に過ごします。泣かれることに慣れていない保護者に寄り添うことで不安を和らげます。

きっかけ

赤ちゃんを抱っこしているママとの会話から。

「夕方になぜか赤ちゃんが泣き止まない」

「一日大人と喋らないで夕方になっている」

「夕方、ふと孤独を感じてしまう」

不安感を感じやすい夕方に大人とおしゃべりできる場を作ることから始まる。

03.それぞれのきっかけ



ここぽっぽ

毎月1回 一時保育室内で開催
地域の読み聞かせグループ「jijibaba隊」による絵本や紙芝居、わらべ歌、手遊び歌などを楽しめる機会となっている。

保育中の子ども、地域の親子が一緒になって参加できる。

きっかけ
保護者に絵本を身近に楽しんでもほしいと思ったことから。親子で楽しめる場所として。



さんサンさんぽ（さんぽパパ会）

毎月第2日曜日10:00～12:00

鴨池公園（プレイパーク開催日に合わせる）

のはらネットワークのスタッフ2名と一緒に親子で外遊びをします。

きっかけ

ある利用者のお父さんが気になったことから。

子どもへの接し方がわからず、子どもと親の関係性に心配がみられる。

他利用者の声からも「休日のお父さんとの過ごし方がゲームセンターに行くことになっている」という相談から始まる。

03.それぞれのきっかけ



さんぽの扉

きっかけ

緊急事態宣言中の「あの親子は家でどう過ごしているか、何か困っていることはないか」と心配になったことから。

ニュースでは、親子ともにストレスを抱え、子どもへの虐待や夫婦間のトラブルなどが盛んに報じられていた時期でもあった。

その時に、愚痴の吐き出し場所として、またお家時間の工夫の発信として、非接触型のチャットをコミュニケーションツールとして利用した。



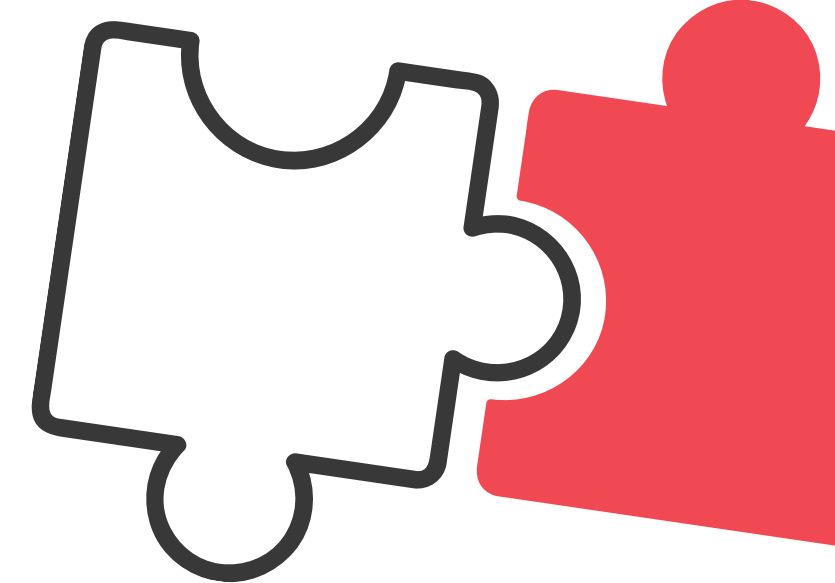
きょうだい児保育

きっかけ

療育に通うご家族が、障害児を抱えながらきょうだい児を他の施設へ送迎する困難さから。

きょうだい児も仕方なく療育センターへ連れていき、同席させながら療育を受けざるを得ない状況でした。

きょうだい児の人権保障の観点からも、専門性のあるスタッフがきょうだい児を保育する必要性を感じ、横浜市との協働事業として実施しました。今年度からは市の事業として採択され、安定した保育提供を実施できています。



04.宣伝 チラシ SNS

あの人に届け

- チラシを見て、「わたしのことだ」って思ってもらえるように
- なるべく予約制にせず、時間内だったら出入り自由に
- 一本釣り

たまの土曜に...
@さんぽスペース

たまに土曜日あいてます。
親子で自由にさんぽのスペースをご利用いただけます。どうぞあそびにきてね！

日程: 2月10日(土)
3月 2日(土)

時間: 10:00~13:00
いつ来ていつ帰っても
お昼ご飯はご自由にどうぞ

☆お願い☆
・参加費は無料ですが、
場所代/電気代、活動費がかかります。
¥100~のカンパのご協力をお願いします。
・オムツを含むゴミはお持ち帰りをお願いします。

☆お問い合わせ☆
一時保育さんぽ 045-532-9960

さんぽの扉

2/22(木)

さんぽの扉
がたがたがた 🌨️ 寒いです
こんな気候で身体も悲鳴
🐱
あまり詰めすぎないで
きたいです

わかっちゃいるけど詰め
込んでしまった人
何かを詰め込みたい人

一緒に整理整頓するイメ
ージで
17時までお待ちしていま
す 📺

おはようございます🌞
今日はさんぽの
「春の芽吹き遠足」
〜こどもと一緒に歩こう
よ〜
ですよ🎵

申し込みしなくても
参加オッケー👉
まんまる広場で合流など
途中参加もオッケー👉

さんぽスタッフと一緒に
春を感じながら歩きまし
ょう🌸

お待ちしてます😊

さんぽスタッフより

こっぽっぽ 2023年
7/26(水)

(絵本のある子育て推進活動)

絵本・紙芝居・わらべうた・エプロンシアター 時間: 15:30~

親子連れ、お孫連れ、
ちいさいこも、おおきいこも、
誰でも参加できるお話し会です。

場所: 一時保育ぽっぽ
都筑区中川中央 1-39-11 1F

*参加費は必要ありません。
主催: NPO 法人のぼろネットワーク
問い合わせ: 一時保育ぽっぽ TEL. 045-914-6272

センター北キッズファーム・畑の日
夏の畑体験 7/15(土)
夏野菜の収穫&冬野菜の種まき 8/19(土)
9/16(土)

9:30~11:00
雨天時は中止

場所: キッズファーム
牛久保西 1-17-5 外

持ち物
畑用の靴(各自1足)
軍手、帽子、タオル
着替え(こども用)
ポリ袋、飲み物など
協力金(100円)

「畑の日」は、都筑区社協の「つづきふれあい助成金」の
配分を受けて開催している子育て支援事業です。
申し込み・お問い合わせ/電話 814-6272
主催: センター北キッズファーム管理運営委員会

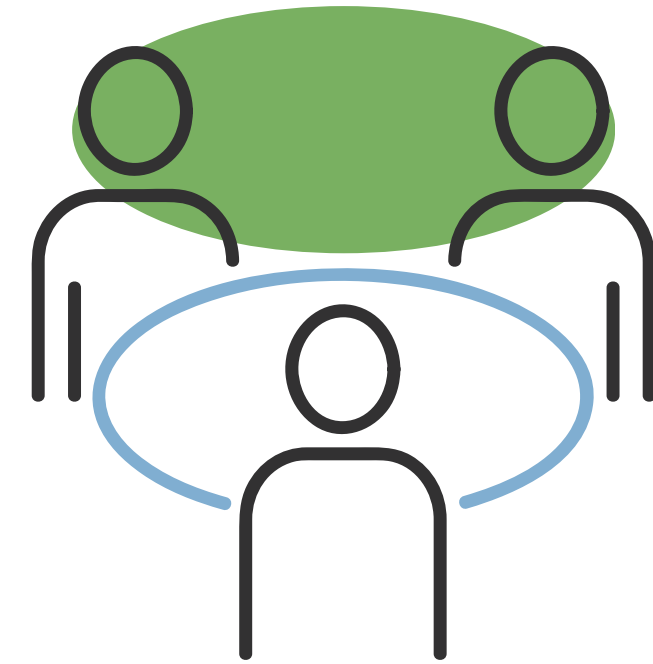
だれでも参加できる「だれでも勉強会」を開催致します
一緒にこどもについて勉強しながら、自分についても勉強しませんか?
親になってもだれも教えてくれないこどものこと
親になったのに誰もわかってくれない私のこと
こどもってこんなことになっているの?自分ってこうだったんだ!
隣のこの人も、知らないあの人ももしかして?
こどもや自分のことを知って、許して、笑って、力を抜いて、へえーってなって、
いつもの毎日を紙一枚分優しく、楽しくできたらいいなという想いで開催しています。

○開催場所の最寄り駅は
横浜市営地下鉄
かけはし都筑
横浜市都筑区

05.失敗？

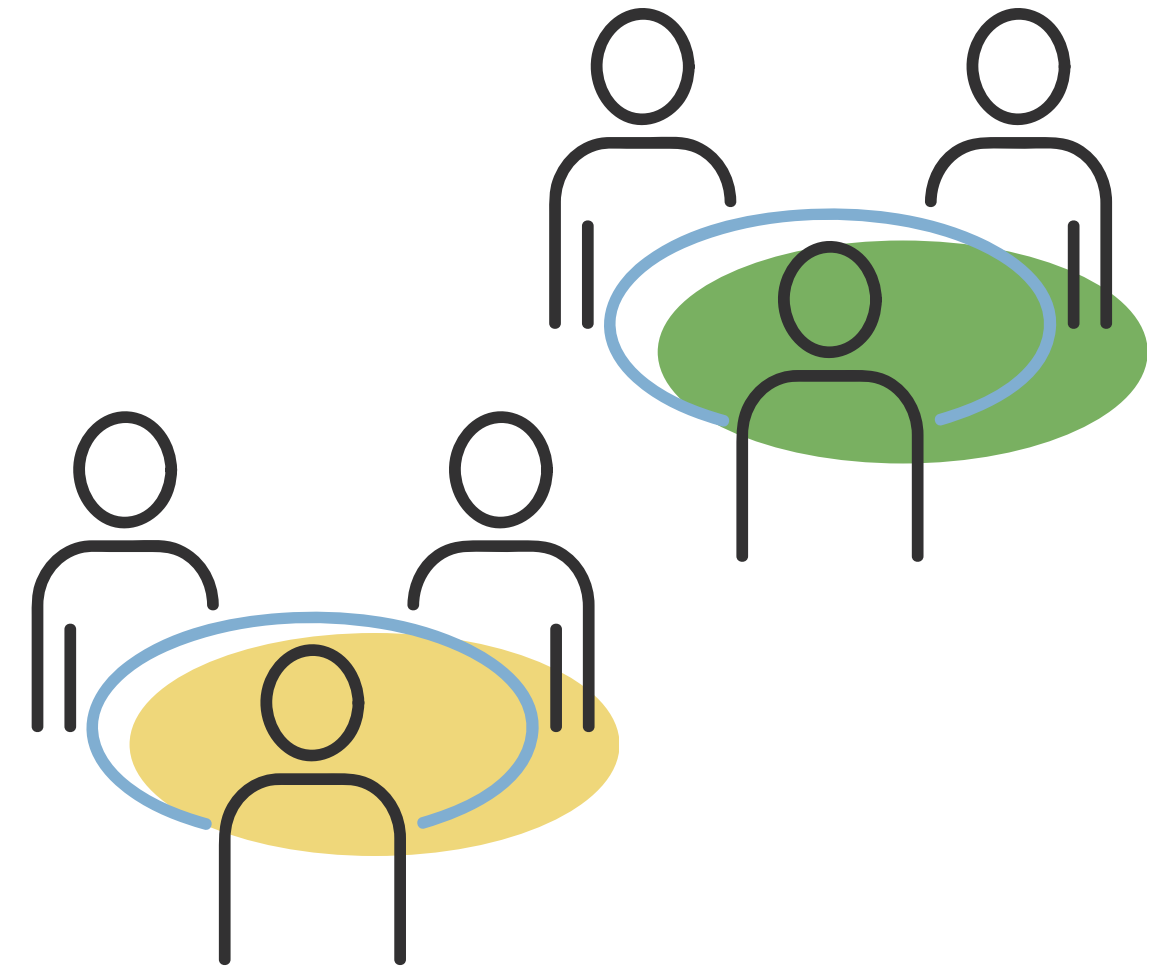
気になるあの人やあの子
のためにやってはみたものの

- 参加者より、スタッフの人数のほうが多い
- あの人是不来ない
- 提供したいことと参加者のニーズが合っていない



05.失敗？

それでも続けているうちに



- 参加者が多いから成功とも違う
- それでも続けていると、同じようなことで困っている人が集まるようになる
- 利用者が心地よいと思える場所を選択できている
- 継続は力なり
- やっているうちに形態を変えたり、反対に変えてはいけない部分がわかってくる

06.2023年度の結果 数字から

	助成金の有無	スタッフ人数	開催数	参加人数	その他
さんぽのわ	無	2	35回	170家族・ 375名	
キッズファーム	有	外部のボランティア	11回	81家族・238名	参加費として協力金 100円
夕暮れ赤ちゃん広場	無	1	24回	26名	
たまの土曜に…@さんぽスペース	無	2 + 外部 1	7回	120名	2024年度 助成金申請中
ここぽっぽ	無	外部のボランティア	11回	子ども100名・ 大人96名	
コウノトリプロジェクト	無	1	いつでも受付	1名	
さんサンさんぽ	有	2	11回	270名	
さんぽの扉	有	3	46回	165名	講座開催実施

06.2023年度の各支援の結果 利用者の声から（ほんの一部）

さんぽのわ

行けば誰かに会える、遊べる、話せるが良いです。どこかの園に所属していなくても、誰かと繋がって、遊べたり、お弁当を食べたりできる。また子どもが野原で自由に遊んでいる姿を見ることが、それらに寄り添う保育者がどんな言葉がけをするのか、他のお母さんからも学ぶことがあり、親が育つ機会にもなっている気がします。

キッズファーム

子どもが泥遊びや畑仕事を経験できるのが嬉しい。
子育ての悩みを聞いてもらったりしながら作業をする、いつもありがたいです。

夕暮れ赤ちゃん広場

大人とのたわいもない話だったり、情報交換、子どもの成長の振り返りや見通しができて、対面で人と話すことの安心感みたいなものを感じます。
生後間もない子と、上の子の関係性の悩みを聞いてもらったり、上の子も一緒に連れてこられるのも安心できた。

さんサンさんぽ

プレイパークが開催しているので、外で遊ぶ楽しさだったり、外遊びの経験が増えた。一人ではなかなか行きづらかったが知っている保育者がいることで参加しやすかった。
父親と子どもとでも出かけられる場所になり、自分も楽しめ安心できる。

さんぽの扉

聞きたいことを気軽に聞ける。悩んでいたことを聞いてもらい、チャットをするうちに自分の考えを整理することができた。誰かに聞いてもらうことで、心が少し軽くなる、和らぎました。

07.最後に

のはらネットワークが大切にしていることは
「子育ての時をもっと楽しめるように」です。

子育てはつらいし、孤独だし、面白くないと感じてほしくない。
子育てを楽しむためには、人の力が必要ですし、助けも必要です。

親も子も支援者も自分らしく生きられるように
お互いに「育ちあえる場」があるということが最も重要だと思います。

わたしたちが考える「育ちあえる場」とは、
何かをできるようになることや、何かを体験できる場ではなく、
人と一緒に悩んだり、考えたり、笑ったり、喜んだり、失敗できる場だと思っています。

そんな場がたくさんできて、子育てって楽しいな、人とつながるって楽しいなって
思ってもらえたら大成功。

たった一人の参加者だったとしても、それは同じだと思っています。

ご清聴ありがとうございました



NPO法人のはらネットワーク

理事・保育士 燕昇司 知里

nohara.chocopon@gmail.com

090-7272-6766